

2023 年度 第 2 回 定例会 議事録

1. 日時 : 2023 年9 月16 日 (土) 13:30~17:00

2. 場所/形式 : 博多石川ビル6 階 九州本部会議室

3. 出席者 (敬称略)

会場参加者 : 永岩 西井 佐藤 稲垣 松井 佐竹 岩尾 植木 (8名)

Teams参加者 : 末松 河本 堀田 南里 久原 中田 岩見 村岡 勇 外山 高畦 宮園 井内 (13名)

欠席 : 城戸 諸藤 (2名) ※城戸委員は終盤にTeams参加

4. 記録 : 高畦

5. 議事・議題

■開会に先立って

- ・清水委員のご冥福を祈って黙とう
- ・下津委員の退任あいさつ
- ・外山委員新入会あいさつ

■議事

(1) 新倫理綱領についての意見交換 「新倫理綱領『4.有能性の重視』について」

発表者: 中田委員

【講演要旨】

- ・旧版の否定的な表現 (予防倫理) から新版では肯定的な表現 (志向倫理) に変わっている。
- ・技術士法第一条から、現状に満足することなく、変化をしていくことが求められていると読み解いた。
- ・科学技術をどうとらえるか→「21世紀の社会と科学技術を考える懇談会」資料に科学と技術の定義が記載されている。科学と技術とが明確に分かれていることが重要と考える。
- ・「確信のない業務には携わらない」に対して、対応の必要がある。
- ・「理系のための科学技術者倫理」では、「確信がもてても失敗することはある」としている。
- ・新しい社会を開いていく世界では、高い倫理観が必要になる。

【意見交換】

- ・サイエンティスト、テクノロジスト、エンジニアのとらえ方について議論が交わされた。
- ・「有能性の重視」にある協業者のとらえ方に対し、協業者を協力者ととらえてはとの意見もあった。
- ・確信がもてないと安全確保の観点から土木ではできない、とする意見もあった。
- ・ミクロとマクロのバランスが重要では？とする意見もあった。
- ・有能性の重視では、改正版は、コラボしないと課題解決できないという考えを表しているのでは、という意見があった。

(2) 中国本部との共同イベントにおけるタスク進捗確認

11月25日に実施する共同イベントについて、事前準備における各担当からの進捗報告及び確認、当日の役割分担確認をおこなった。

(3) タスクチームからの報告

- ・活動管理タスクチーム（勇委員）→ チーム内で検討した役割分担等を説明した。
- ・教育啓発タスクチーム（佐藤副委員長）
→ 大分のメンバーで勉強会を6/25, 6/30, 7/21に実施した。（口頭報告）
- ・連携・交流タスクチーム（西井副委員長）→ イベント準備のほかは特になし
- ・沖縄県支部倫理支援担当（井内委員）→ 特になし。

※担当名称を「沖縄管内倫理支援担当」に変更することを決定した。

(4) 会務報告等

- ・統括本部倫理委員会報告（永岩委員長）
→ 今期より所属する統括倫理委員会の活動を報告した。
- ・全国大会in 愛知・中部における技術者倫理情報連絡会（永岩委員長）
→ 資料を基に参加希望者への案内を説明した。
- ・有明高専非常勤講師の件（堀田委員）
→ 非常勤講師依頼にあたって、年齢上限の緩和、複数講師による講義分担ができないか依頼主に確認する。（担当：堀田委員）
- ・北九州市立大学国際環境工学部非常勤講師の件（堀田委員）
→ 条件緩和などについて確認する。（担当：堀田委員）
植木委員、河本委員から応募したい旨の発言があった。
- ・第4回定例会の役割分担（永岩委員長）→ 議事担当など人選案を提案し了承された。
新倫理綱領「5.真実性の確保」：勇委員 議事録担当：植木委員
- ・2024 年度第1回定例会（6月）以降の新倫理綱領解釈担当委員について（永岩委員長）

6. 公正かつ誠実な履行	村岡委員	2024/6月定例会
7. 秘密情報の保護	久原委員	2024/9月定例会

上記の委員が対応することになった。
【意見】新倫理綱領の解釈をする際、初期メンバーが行った旧版技術士倫理綱領の解釈研究の成果も参考にされてはどうか。（末松委員）
- ・新技術士倫理綱領解釈ほかその他
→ 倫理に関する CPD アイデア、意見などがあれば永岩委員長に報告

以上